

寅
新
年
賀
年
書

新年明けまして
おめでとうございます。



[洋画家：岡崎洋児氏（珠洲市狼煙町）]

こらむ

アイデンティティ 51

（祝賀）奥能登はいま動いている

ー故きを温ねて、共に新しい発想を生かすー¹
去る晚秋、コロナ収束で久し振りに帰省した。「よう
來たつたわ。長いこと会つとらんね。息災で何よりや。
コロナのはやり病で何もかんもだつちやかん
てい：」「丈夫で若々しいの：」と言えば「あんま
べつちやぞう、俺おじのほう：」と、話し口調のイント
ネーションと長音のおつとりした懐かしい能登弁が能
登はやさしや土までもの心を心にする。

二人の視線先には、荒れ放題の田畠に古来からの茅と
外来種背高泡立ち草がはびこつて嘗ては敵対し勢力を
争つていただが、何としたことかしたたかに姿を変形
しながら住み分けて共存しているではないか。「ばつか
いあまるてえ：どつちも根が強く、退治に往生するん
や：」これは自然がなせる負の共存であろうか。
「納屋のあまんたかの隅に忘れられていたとみやひ
ながちや稻（こきな）などに、ミュージアムでまいこと頭を
使つて光を当て生きかえらせているわ。子供の頃こき
使われたけど、楽しくもあつたのきや：」奥能登国際
芸術祭拠点会場スズ・シアター・ミュージアムの紹介
と勧めだった。

成る程、半島の山がちで狭い田畠に広い海を工夫し
て生きてきた山仕事、農家や漁家、酒造や製塩などの生
産用具、江戸の頃から祭りや催しの道具そして四季こ
もごもの衣食住の生活の品々に焦点を当て郷土文化の
連續不連続の意義を問い合わせ直そうとしている。加えて大
切に思つたのは、16の国と地域から53組のアーティス
トの参加によつて新鮮な価値ある外の目と共生できた
ことであろう。地域にネタが尽きるとき衰退するとい
う。古きを掘り起こし、外部からの芸術や技術の風を呼
び込もうと動く郷里に乾杯し上京したのである。

（押上武文（府中市）宝立町出身）

令和4年 珠洲市長 新年のご挨拶



禄剛崎灯台と朝日



▲奥能登国際芸術祭2020+作品No.2
「スズ・シアター・ミュージアム」

明けましておめでとうございます。
東京奥能登応援団の皆様におかれましては、輝かしい令和4年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年秋に開催いたしました「奥能登国際芸術祭2020+」には、約49,000人もの多くの方々にご来場いただきました。開催に際し、ご支援、ご協力を賜りました皆様に、改めて心より感謝申し上げます。今回の芸術祭によって新たに生まれ出された、他には類のない、光と音と映像による劇場型の歴史民俗博物館「スズ・シアター・ミュージアム」は、今後も、ツアーや受け入れや週末を中心公開するなど、運営を継続してまいりたいと考えております。



珠洲市長
泉谷 満寿裕

東京奥能登応援団の皆様には、今後とも「ふるさと奥能登」に変わらぬご支援、ご協力を願い申し上げますとともに、東京奥能登応援団の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

現状を打破し、珠洲市が大きく前に進むためには、さらなる変革が必要であると考えております。珠洲市の魅力をさらに高めることで、移住・定住の促進につなげるとともに、新たな公共交通システムの導入やデジタルトランスフォーメーションによって利便性の向上を図るなど、持続可能な「安心して暮らせる活力ある珠洲市」を目指して、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

れた、他には類のない、光と音と映像による劇場型の歴史民俗博物館「スズ・シアター・ミュージアム」は、今後も、ツアーや受け入れや週末を中心公開するなど、運営を継続してまいりたいと考えております。新型コロナの感染が収束し、海外からの観光が回復した際には、珠洲市の大きな財産になるのではないかと考えております。



▲揚げ浜塩に漬けた「のどぐろ」と「甘鯛」の干物と季節の干物が入ったセットです。魚の旨みが凝縮され、ご飯やお酒のあてにぴったりです！

◎揚げ浜塩使用 プレミアムのどぐろと甘鯛、季節の干物3品セット
のどぐろプレミアム1尾、甘鯛プレミアム1尾、季節の干物3品
※季節によりセット内容が変わります。
寄附金額 50,000円



▲樽香の余韻がじっくりと味わえ、深いコク・キレ・まろやかさを持ち合わせた本格焼酎。まずは、ロックでじっくり味わってみてください。

ふるさとチョイス/
お礼の品の
ご案内（一例）

◎虎の涙
△樽貯蔵12年熟成△
寄附金額 10,000円

令和4年 能登町長 年頭あいさつ

恋路海岸の朝日

明けましておめでとうございます。

東京奥能登応援団の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素よりふるさと納税を通しての応援をはじめ東京から元気を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020年より我々の生活を脅かしている新型コロナウイルス感染症ですが、このコロナ禍で、改めて、人の支え合いの重要性を感じています。人と地域の支えあいを大切にし、今後も町独自のきめ細やかな支援を行なながら一刻も早く日常生活を取り戻せるよう、取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、町で36年ぶりに全国高校総体ソフトテニス競技（男子）が開催され、能登高校が個人戦第3位に輝くなど熱



さらに、のとキリシマツツジの古木群が日本植物園協会の保全制度「ナショナルコレクション」に認定されたことや町の「ふるさと大使」柴野大造氏のジェラートショップ「マルガージエラート」が世界最高のジェラートショップの称号を獲得されたことなど喜ばしいニュースがありました。

「能登の里山里海」が世界農業遺産に登録され10年が経過し、これからも「能登(NOTO)」の名が世界に広まっていくことを期待せずにいたれません。

この豊かな里山里海を、そして、私たちの生活を守り育てていくため各種施策の実行に積極的に取り組んでまいります。

結びに、皆様の今年一年のご多幸とご健康を心から祈念申し上げ、謹んで年頭の挨拶いたします。



能登町長
大森 凡世

戦が繰り広げられました。また、観光交流施設イカの駅では、来場者が1年で10万人を超えるなど好評を得ています。

東京奥能登応援団の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素よりふるさと納税を通しての応援をはじめ東京から元気を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020年より我々の生活を脅かしている新型コロナウイルス感染症ですが、このコロナ禍で、改めて、人の支え合いの重要性を感じています。人と地域の支えあいを大切にし、今後も町独自のきめ細やかな支援を行なながら一刻も早く日常生活を取り戻せるよう、取り組んでまいります。

获れたてのイカを船上で急速冷凍しているので鮮度は抜群です。お刺身などにしてお召し上がりください。内容量:10杯(約2kg) 寄附額:14,000円

ふるさと
応援寄附
ご紹介（例）



◎能登牛王様ステーキ肉



ふるさとチョイス
船冻するめいか

能登の里山里海で大切に育てられた黒毛和種能登牛。脂に内質の良さ美味しさを左右するオレイン酸を豊富に含んでいます。
(内容量)ステーキ肉の王様サーロイン約200g×5枚
【寄附額】50,000円

問い合わせ

0768-62-8526

能登町 ふるさとチョイス 検索

～頑張る奥能登人～

横浜石川県人会 (代表 本田ゆり子さん)

コロナ禍にも臆せず、横浜市で奥能登の物産展を挙行!!

団体の経緯

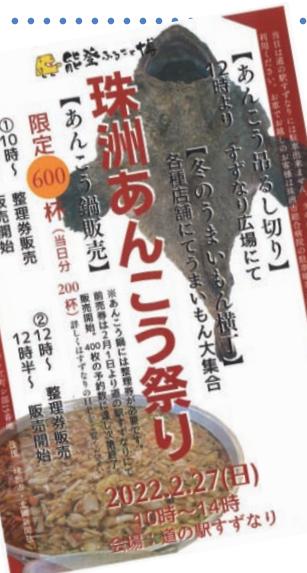
横浜石川県人会は、平成10年代は明石憲章会長(珠洲市出身)らが主導して活発な活動があったが次第に衰退していたところ、NHK朝ドラで「まれ」が放映されることを契機に平成26年本田ゆり子さん(珠洲市出身)らが再興の活動を始めた。

横浜市中区の大岡川桜祭りや横浜港花火大会に「能登物産展」を展開してきた。とりわけ、鶴見区が總持寺本山繫がりで輪島市と友好交流協定を締結していることから、總持寺の諸行事に東京輪島会(坂本哲会長)、東京で能登の祭りをやろう会(八木敦成代表)らとキリコの担ぎ出しを行うなど、石川の観光PRに精力的に取り組んできた。

最近の活動

一昨年以降、コロナ禍で各地の行事が自粛になる中でも、コロナ禍の先を見据えながら機会を捉えて横浜市内の諸行事に「能登物産展」を出展している。

今年は、鶴見まんぶくフェア、仲通りマルシェなどに断続的に出店し、農水産物や銘菓を販売しながら観光ポスターを掲出したり、パンフを配布している。



首都圏行事のご案内

- 1月19日(水)～24日(月)▶石川・富山物産展&芋スイーツフェア:京王百貨店 聖蹟桜ヶ丘店
- 1月29日(土)▶新・農業人フェア:池袋サンシャインシティ
- 1月29日(土)～2月6日(日)▶テーブルウエア・フェスティバル2022:東京ドームホテルほか
- 2月1日(火)～13日(日)▶のとてまり&能登牛フェア:赤坂浅田、加賀屋銀座店など8店
- 2月11日(金)～13日(日)▶いしかわ伝統工芸フェア2022:東京国際フォーラム
- 2月26日(土)▶いしかわ農林漁業移住セミナー:ふるさと回帰支援センター(東京交通会館)
- 3月12日(土)▶ライフプラン移住セミナー:ふるさと回帰支援センター(東京交通会館)
- 3月23日(水)▶オーケストラアンサンブル金沢東京定期公演:サントリーホール
- 3月24日(木)～29日(火)▶第2回信越・北陸の物産展:東武百貨店池袋店

事務局から

本号コラムのとおり、昨年秋に開催された奥能登国際芸術祭には、来訪した5万人近くの鑑賞者に感銘を与え、奥能登の賑わいが創出され成功裡に終えたようで大変喜ばしいニュースになりました。現在、コロナ禍の沈静化傾向の中でオミクロン株が急拡大の様相にあり、その対策に各方面でやっきになっています。帰省復活にブレーキが掛かるようでもあり、なんとも悩ましいかぎりです。晴れ晴れと里帰りができるのはいつになるやら、疫病退散を願いつつふるさとの振興を念じるばかりです。

[東京奥能登応援団] 代表/光眞 章 副代表/下平 康次

北野多津子さん(小木町)押し絵作品▶

